

紫波町食育推進計画

まんずたべよう！
食から築く紫波のみらい

平成19年3月

岩手県 紫波町

食から築く紫波の未来

私たちが健康で生き生き暮らしていくうえで「食」は「運動」とともに大切な要素であり、健康的な生活を維持するためには、毎日欠かすことのできないものです。

その大切な「食」について、国は、「食」をめぐる環境、特にも子どもたちを取り巻く環境が劇的に変化する中で、国民が健全な食生活を失いつつあるとの危機感から、食育基本法や食育推進基本計画を定め、国民運動として「食育」を進めています。

県においても、「食」の安全・安心対策に早くから取り組み、全国でもいち早く食育推進計画を策定し、「食育」に関する施策が総合的に進められているところです。

本町は、豊かな水や土壌など恵まれた自然環境の中で、安全・安心な農畜産物を生産し、その恵みを享受しながら、先人の知恵とたゆまぬ努力により豊かな食文化を育んできました。

これらの「食」をめぐる環境を踏まえながら、まちづくりの理念である循環型まちづくりへの取り組みの中で、健康づくりや地産地消などさまざまな視点から「食」事業に取り組んでまいりました。しかしながら、食の乱れが一部で顕在化する現状に鑑み、さらなる町民の健全な食生活の実現に向けて、現状の課題解決や新たな事業展開の指針となります、紫波町版食育推進計画の策定が望まれていたところです。

計画策定にあたっては、平成18年度に「食育」をテーマにワークショップを開催するとともに、講演会や講座、まちづくり座談会を通じて多くの町民から広くご意見、ご提言をいただいたところです。

また、学識者、教育関係者、関係団体及び公募委員から構成する計画策定委員会で計画内容を審議いただきました。ここに計画策定にご尽力いただきました岩手大学菅原教授を始め関係各位に深く感謝申し上げる次第です。

本計画は、「町民すべてが食の大切さを意識し、次世代につながる食生活を実践し、心身ともに健康で生き生き暮らしていくことができること」を目標としております。

この目標の実現に向けて、家庭、学校・児童施設、地域、生産者、事業者、町が一体となって取り組みを進めてまいりたいと考えております。

計画が、町民皆様が食の大切さを考える一助となりますとともに、事業推進にあたりましては、特段のご理解とご協力をお願い申し上げ挨拶といたします。

平成19年3月

紫波町長 藤原孝

